

Palau



Peru



**Philippines** 



210

Spain

Thailand

+

Tonga

Republic of Korea

## 和歌山県立日高高等学校

# SGH通信 第11号

2018年11月13日





Brunei Darusalam



Chile



Comoros



Denmark



Indonesia



Kiribati



Malaysia



Maldives





Micronesia



Myanmar



New Zealand

# 約1600人が参加 地域合同避難訓練・防災スクール vol. 2

#### タイムテーブル

- 「世界津波の日12018高校牛サミットin和歌山参加海外牛徒 9:45 が各クラスに合流
- 10:30 地震避難訓練
- 10:50 津波避難訓練
- 11:15 防災スクール
- 12:45 昼食交流(FM防災実験局 ※一部英語)
- 13:30 フィールドワーク(道成寺、美浜町松原地区津波避難場所)

United States of America

#### 地震避難訓練 • 津波避難訓練



Vanuatu



Venezuela



Viet Nam

Japan

### 園帯同ボランティア

僕はボランティアとして園児たちを日高高校まで帯同した。初めて接する園児た ちとの訓練の中では、名前を覚えるのにも限界があり、「○○くん、前向いてよ」と 指示する時に特に難しさを感じた。避難時に上靴が脱げてしまったりこけてしまっ たりする園児もいたほか、泣いてしまう園児もいた。どのようにして子どもたち Marshall Islands を安全に、かつ迅速に行動させるのかを考え行動することが難しかった。

実際に地震が起きた状況下で行動する際はもっと困難であると推測できる。そう いった中でも避難する子どもたちをしっかりサポートできるよう、大きな声で指示 を出し、適切な行動をとれるように心がけていきたい。 2年5組 荒井天輝

#### FM防災実験局

話すということはいつもしていることだけれど、相手にわかりやすく聞き取りや すく伝えるということはとても難しいことだと感じた。取材をする時には、ラジオ を聴いている人はどのような情報を求めているのかを考えながら質問するというこ とが大変だった。聞き取った情報を壁新聞としてまとめる時には、遠くからでもわ かりやすくしたり、日付や文字などは色を変えたりと、様々な工夫をすることが良 いのだと学んだ。実際に地震が起こってラジオで伝えなければならない時には焦り も伴って上手く伝えられないかもしれないけれど、はっきり発話するということの 大切さ学んだ。 2年5組 三世千尋





